

知の市場奨励賞の受賞者と選考理由

1. 第二区分の団体

受賞候補者	推薦理由
名古屋市立大学 (学長 戸苅 創)	健康科学に係わる専門家を組織し、2005年度から関連講座の開講機関として一般市民を対象に基礎的な講座を開講するとともに、2008年度から医療・保健分野の専門人材の学びなおしを支援する高度な講座を開講するなど、今後とも人材育成と教養教育の発展及び知の市場の発展に資することが期待される。

2. 第二区分の個人

保利 一	2006年度から化学物質や産業安全衛生に関する科目等を開講する中で、化学物質の管理や労働衛生の管理に関する講義をいくつかの拠点において展開し、今後とも人材育成と教養教育の発展及び知の市場の発展に資することが期待される。
星川 欣孝	2004年度から化学物質の管理に関する科目等を開講する中で、化学物質のリスク管理や国際的な活動に関する講義をいくつかの拠点において展開し、今後とも人材育成と教養教育の発展及び知の市場の発展に資することが期待される。
服部 道夫	2005年度から化学物質や化学技術に関する科目等を開講する中で、リサイクルや環境課題への取り組みに関する講義をいくつかの拠点において展開し、今後とも人材育成と教養教育の発展及び知の市場の発展に資することが期待される。
津田 洋幸	2006年度から化学物質やナノ材料に関する科目等を開講する中で、発がん物質の評価と管理に関する講義をいくつかの拠点において展開し、今後とも人材育成と教養教育の発展及び知の市場の発展に資することが期待される。
山崎 徹	2005年度から化学物質や化学技術に関する科目を開講する中で、バイオテクノロジーや化学工業の特徴と役割に関する講義をいくつかの拠点において展開し、今後とも人材育成と教養教育の発展及び知の市場の発展に資することが期待される。